

共生・公正・創造
 共生の精神のもとに、心
 とところをつなぎ、次代
 につながる公正な社会を
 創ります。



JR東日本労働組合 東京地本

JR東日本労働組合
 東京地方本部
 東京都千代田区鍛冶町2-11-11
 発行者・福田 高夫 編集者・依田 匡一
 TEL(NTT)03-3251-2191 (JR)057-2292
 FAX(NTT)03-3251-2192 (JR)057-2292

1月24日、ホテル・ラ
 ングッドにおいて新春旗
 開きを開催した。当日は、
 二部構成でおこなはれ、
 一部の進行は、斎藤執行
 委員の司会で進行した。
 はじめに、東京地本を代
 表して、福田執行委員長
 が年頭のあいさつに立ち
 2015年の取り組みに
 ついて三点の定期がなさ
 れた。春闘に向けた決
 意 組織強化、一元化に
 向け分会の再整備する。
 統一地方選挙の重点候
 補の支援を要請した。
 来賓の方々から、
 激励のあいさつを受
 けた。
 また、突然、前民
 主党党首、海江田
 万里氏が登場して会
 場を沸かせた、
 今回の選挙の結果
 は承知のところでは
 あるが、皆さんの



1月24日、ホテル・ラ
 ングッドにおいて新春旗
 開きを開催した。当日は、
 二部構成でおこなはれ、
 一部の進行は、斎藤執行
 委員の司会で進行した。
 はじめに、東京地本を代
 表して、福田執行委員長
 が年頭のあいさつに立ち
 2015年の取り組みに
 ついて三点の定期がなさ
 れた。春闘に向けた決
 意 組織強化、一元化に
 向け分会の再整備する。
 統一地方選挙の重点候
 補の支援を要請した。
 来賓の方々から、
 激励のあいさつを受
 けた。
 また、突然、前民
 主党党首、海江田
 万里氏が登場して会
 場を沸かせた、
 今回の選挙の結果
 は承知のところでは
 あるが、皆さんの



経過報告、2015年さ
 らなる躍進と春闘に向け
 ての本部の考え
 郷書記長から地本の質問
 を受けた、今後の
 二部に入り、レセブショ
 ン乾杯、しばし歓談。新
 春恒例の大抽選会が始ま
 り会場は大きな盛り上が
 りを見せた。



2015新春の集い
 更なる飛躍を誓おう！



2015春闘要求決定

賃上げ要求
 社員一人あたり平均「6000円」引き上げ
 定期昇給は、4係数とする

夏季手当
 基準内賃金の3.2ヶ月

**エルダー社員及びグリーンスタッフにも社員に
 準じた引き上げを求める**

さらにエルダー、グリーンスタッフ、55歳以上
 の社員に加算求める
 55歳以上の社員に一律3万円加算
 エルダー社員及びグリーンスタッフの精勤手当に3万円の加算

**満額獲得に向け多くの組合員の参加を！多くの怒りの
 声をあげよう！**

第一弾「2015春季生活闘争勝利関東ブロック春闘集会」
 日時 2015年3月3日(火) 14時
 場所 田町交通会館5F
 (田町駅下車、徒歩5分)

前段で地本集会開催
 日時 2015年3月3日(火) 11時
 場所 地本事務所会議室

中央委員会開催 春期生活闘争方針決定する 郷中央委員発言内容

2月7日、ホテルラング
 ウッドにおいて第2回中央
 委員会が開催されました。
 渡辺中央執行委員長より
 2015年春季生活に向
 けての本部としての方針
 を述べた。質疑に入り東
 京地本を代表して郷書記
 長が春闘に対する地本の
 取り組みを述べた。昨年
 11月に開催した、地本
 全体集会で先輩組合員か
 ら「ベアなど成果があつ
 たが、すっきりしなかつ
 た何時から政・労・使間
 で行うものになったのか。
 労使間で言うものと思
 うが組合としての考えを聞
 きたい」との意見を頂き
 ました。この様なやり方
 では、お任せ春闘になつ
 てしまう。組合員でいる
 この意識が薄れていく
 のではないか。との指摘
 を頂きました。次に、こ
 の間の取り組みについて、
 エルダ社員は、定年退職
 ごJR東日本本体に再雇
 用され多くの出向と
 なっています。それ
 から、現在のエルダ
 ー社員の得る収入は、
 賃金と特別支給の老
 齢厚生年金がありま
 す。この関係から、超過
 勤務をしても収入の上限
 を超えてしまうとカット
 されるといことが起き
 ています。一企業でな何
 とかなる問題ではありま
 せんが、矛盾を感じると
 いふ意見が多くありま
 した。出向先の労働条件や
 設備要求を直接行うこと
 ができません。委託予定
 になって居る職場は、本
 体に居るうちに設備や備
 品を揃えて置こう、そう
 ゆう声がかえってきます。
 次に、京浜ラインの基地
 統廃合について。東京に
 関しては、下十条運転区、
 蒲田電車区、蒲田車掌区
 が廃止され、新たに浦和
 と蒲田にそれぞれ運輸区
 や運転区、車掌区が設置
 されます。提案があつて
 以降、組織統一などもあ
 り、申し入れを昨年3月
 に行いました。その交渉
 が出来たのは、12月で
 ありました。9ヶ月間な
 しのついでです。その間、
 第一組合においては、施
 策妥結前の転勤希望確認
 や、列車の本数など施策
 の具体的な内容の情報が
 飛び交い、その対応が悪
 いとストライキの話まで
 出されてきました。この
 施策が実施されることに
 より、わが組合員がいる
 下十条運転区の7割の業
 務が、3月のダイヤ改正
 で浦和に移管されます。
 そのことにより転勤が発
 生し、組合員が分かれて
 しまうことになりました。
 同じ線区の業務であり場
 所が違えど組合員の取り
 組むことは同じでありま
 す。しかし、この間のこ
 とを思うと複雑な思いが
 します。浦和は、大宮地
 本になりますのでよろし
 くお願いします。質問と
 取組について述べた。